

平成25年度 千葉市未来の科学者育成プログラム

総合コース・千葉大学連携コース・医療系コース

「千葉市科学フェスタ2013」メインイベント科学講座

総合的な科学の祭典「千葉市科学フェスタ」。受講生は、千葉市科学フェスタ2013メインイベントで、様々な科学講座を体験しました。

日時：10月12日（土）～13日（日）10：00～16：00

会場：Qiball（きぼーる）

千葉市科学フェスタは、市民が日常生活の中で科学・技術に親しめる総合的な科学の祭典。3年目を迎えた今年も、メインイベントがQiball（きぼーる）で開催され、多くの来場者で賑わいました。



Qiball内の各会場では、科学体験ブース、サイエンスショー、展示、発表会、科学体験教室、科学実験・工作教室、サイエンスカフェ、講演会と、子どもから大人までが、各自の目的に応じて体験することができる科学のイベントが大集合しました。



本プログラムで連携・協力している機関の中で科学フェスタのメインイベントに参加している団体もいました。市立千葉高校は生徒が科学工作を紹介、千葉市教育センターは楽しい理科工作を展開、東京ガス㈱千葉支社は燃料電池の実験を行いました。また、千葉大学連携コースでお馴染みのサイエンススタジオCHIBAは、慣性の法則を利用したゲーム、小型組立式実験装置の物理実験、DNAの観察・実験を行いました。さらに、千葉大学フロンティア医工学センターは、受講生が7月30日の講座で操作した最先端医療機器の体験学習とミニ講演会を実施しました。



今回は、受講生が自由に科学体験ブースや科学体験教室を参観したり、講演会やサイエンスカフェに参加したりする形式で進めました。中には、家族や友達と来場する受講生もいれば、出展者として参加している受講生もいました。

沢山のブースを回った受講生は、各ブースの実験や工作を体験して、出展者からの説明を熱心に聞きながら、あらゆる科学分野の仕組みや原理を学ぶことができました。



さらに、「日本のエネルギー国家百年の計」の講演会に参加した受講生は、原発の問題や将来のエネルギー事情について、改めて考えさせられるものがあり、勉強になりました。また、「はやぶさでわかったこと、わからなかつたこと」の講演会では、「はやぶさ」の成果や「はやぶさ2」の計画を詳しく知ることができました。

各機関に出向いて受講するカリキュラムとは違い、企業・大学・NPO法人など各方面の団体が集結する、千葉市科学フェスタのメインイベントに参加することは、科学の幅広さを認識することができる点で大きな意義があります。

千葉市科学フェスタも、本プログラムで科学に高い興味・関心を持つ受講生にとって、未来の科学者を目指す意欲を高めるための科学コミュニケーションの場として成立していることが、今回のカリキュラムで明らかになりました。